

# 関電70人超に3億500万円

## 金品受領 第三者委きよう報告

関西電力役員らの金品受領問題を調べてきた第三者

委員会(委員長・但木敬一元検事総長)が、高浜町の元助役森山栄治氏(故人)からの金品受領者が七十人を超え、総額が計約三億五千万円相当に上ったとの調査結果をまとめたことが十三日、関係者への取材で分かった。役員ら二十人が約三億二千万円相当を受け取ったとしていた二〇一八年

の社内調査から人数と金額が膨らんだ。

第三者委はこの結果を含む報告書を十四日に関電に提出する。報告書では、森山氏が一九八七年に助役を辞めた後の八〇年代終盤から金品を贈り始めたこと認定する見通しだ。関電が関係者の追加処分を発表する可

能性もある。

報告書では森山氏と関係が深い業者に対する関電の個別の工事発注が、金品受領の直接的な見返りだとは認定しない。ただ全体として便宜供与に近い構造があったとし、長年の癒着関係を強く批判する見通しだ。違法行為があったとの断定

は見送る。

関西電力は金品受領問題の法的な責任を調査する委員会を新設する方向。外部の弁護士で構成し、岩根茂樹社長ら当時の経営陣に損害賠償を求める訴訟を起こすかどうかを判断する。こうした委員会は不祥事を起こした東芝やオリンパスで似たような設置例がある。

第三者委は十四日、但木委員長らメンバー四人が記者会見する。関電の岩根社長は十四日付で辞任し、後任社長と記者会見を開く。

委員長	但木 敬一	元検事総長
委員	奈良 道博	弁護士
委員	貝阿弥 誠	元東京地裁所長
特別顧問	久保井 匡	弁護士



関西電力の第三者委員会 関電が役員らによる金品受領問題の調査のため設置した弁護士による委員会。日弁連の企業等不祥事における第三者委員会ガイドラインに準拠し2019年10月9日に設置した。元検事総長の但木敬一氏や元日弁連会長の久保井一匡氏ら社外の弁護士4人で構成。20人程度の若手弁護士が手伝い、関電が18年9月にまとめた社内調査よりも対象を拡大して実施してきた。